



花形役者が振りつけた歌舞伎アレンジの優雅な踊り

宮内踊



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	みやうちおどり
所在地	岡山市北区吉備津(吉備津神社)
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	吉備津神社の門前町として栄えた宮内(岡山市吉備津)で、毎年7月31日の夜に行われる盆踊り。伝承によると、宝暦年間(1750年代)にこの地へ芝居に来た上方の歌舞伎役者の三樹(みます)大五郎が振り付けをし、地元の芸者連中に踊らせたのが始まりといわれる。単純な動作を緩やかな速度で踊ることに特徴があり、優美な中に厳格さを感じさせる踊りとなっている。
アクセス方法	JR吉備津駅から徒歩15分
公開状況	開催日:7月31日(19:30~21:00)
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	吉備津神社の祭礼(夏祭)に合わせて行われます。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	宮内踊
よみかた	みやうちおどり
しょざいち (所在地)	岡山市北区吉備津(吉備津神社)
していたひ (指定した日)	昭和34年3月27日
せつめい	1750年ごろ、人気のあった歌舞伎役者(かぶきやくしゃ)が振(ふ)り付けをしたと言われていいます。歌舞伎をアレンジしたとてもゆるやかで優雅(ゆうが)な盆踊り(ぼんおどり)です。